

TOSHIBA

環境報告書 2025

Environmental Report 2025



姫路東芝電子部品株式会社

目次

目次	1
ごあいさつ	2
会社概要・沿革	3
環境方針	4
環境マネジメント	5
環境目的・目標	6
持続可能な社会のために	
環境負荷実績	7
環境法令の順守	8
事業活動での環境配慮	
地球温暖化防止	9
その他の環境活動	9
地域との共生のために	
環境コミュニケーション	10, 11

編集方針

姫路東芝電子部品株式会社『環境報告書2025』は、当社の環境活動への取組みと成果をレポート（年報）として纏めたものです。

【レポートの対象範囲】

対象期間：2024年度（2024年4月1日～2025年3月31日まで）

※掲載データについては、2025年度の環境活動実績及び一部以前からの活動と直近の活動を含んでおります。

対象組織：環境マネジメントシステム（ISO14001）の審査登録範囲と構内取引先を含む範囲としています。

※構内取引先…清掃会社、給食会社などの社員

姫路東芝電子部品株式会社は、豊かな流れの揖保川や世界文化遺産の「国宝姫路城」、そして瀬戸内海に隣接する自然環境の中で、官公庁・地域の方々を含め、さまざまなステークホルダーに支えられ、半導体用リードフレームを中心としたプレス製品・精密金型及び金型部品などを製造・販売する事業活動を展開しています。

当社は、東芝グループの一員として環境基本方針である「かけがえのない地球環境」を、健全な状態で次世代に引き継いでいくことは、現存する人間の基本的責務」との認識に立ち、環境への取組みを最重要課題の一つと位置付け、ISO14001の環境マネジメントシステムをベースに「地球温暖化防止の推進」「資源の有効利用推進」「環境意識の向上・社会貢献活動及び環境コミュニケーションの推進」などを環境目標に設定し、事業活動の中で各項目の実施計画を毎年策定し、目標達成に向けた取組みを全社員で実施しています。

当社の「コンプライアンスの徹底」については、事業活動を継続するうえで、最も重要な責務であると受けとめ、定期の内部環境監査や順守評価の実施などでチェックを行なっています。全社員に対しては、環境教育を通じ「コンプライアンスの徹底」の重要性を自覚させています。

当社の環境報告書は、17回目の発行であり2024年度の環境活動への取組みと主な成果を取り纏めたものであります。この「環境報告書2025」を通じて、お客様や地域の方々に当社の環境活動をご理解いただくためのコミュニケーションツールの一つとして機能させるものとして、今後も継続的に発行する予定です。



姫路東芝電子部品株式会社
代表取締役社長 岸岡 治



環境ビジョン 2050

東芝グループは、
地球と調和した人類の豊かな生活に向けて、
環境経営を推進します。

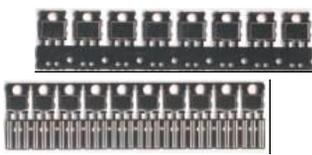


会社概要

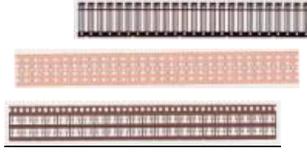
会社名 : 姫路東芝電子部品株式会社
所在地 : 兵庫県姫路市網干区浜田1000番地
会社設立 : 1985年1月
資本金 : 9,000万円(東芝デバイス&ストレージ(株) 100%出資)
代表 : 代表取締役社長 岸岡 治 (2024年6月～)
規模 : 敷地面積 25,049m²
建屋面積 9,856m²
延建屋面積 11,345m²
従業員数 : 186名 (2025年4月1日 現在)
生產品目 : プレス製品(半導体用リードフレーム)
精密金型、精密金型部品



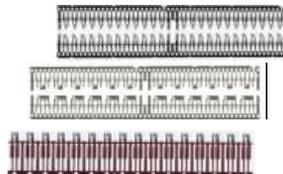
●半導体用リードフレーム



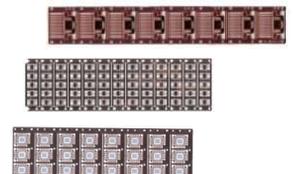
■ Power Transistor



■ Small Signal Transistor



■ OPTO



■ I C

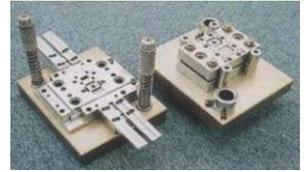
●精密金型・金型部品



■ リードフレーム金型



■ モールド金型



■ カット/プレス金型

沿革

- ◇1985年 1月 会社設立
- ◇1985年10月 半導体用リードフレーム・精密金型 製造・販売開始
- ◇1998年 9月 ISO14001の認証取得
- ◇1999年 4月 リードカット・フォーミング金型 製造・販売開始
- ◇2000年 9月 製造棟建屋の増築完成
- ◇2002年10月 ディスク用モールド金型の製造・販売開始
- ◇2003年 6月 ISO9001の認証取得 (2000年度版へ移行)
- ◇2005年 4月 東芝モールドプレジジョン (株)と合併
- ◇2005年 8月 ISO14001 2004年度版への移行認証
- ◇2006年 4月 (株) 大分プレジジョンと合併
- ◇2008年 8月 ISO14001 (TDSC)Gr統合化審査 合格
- ◇2009年 3月 OHSAS18001統合認証 取得
- ◇2009年12月 環境報告書初版 発行
- ◇2010年 7月 ISO14001統合認証 合格
- ◇2010年 7月 兵庫労働局長より優良賞を受賞
- ◇2017年 8月 ISO14001:2015 (TDSC)Gr移行審査 合格
- ◇2017年 8月 日本赤十字社より「金色有功章」を受章
- ◇2017年 9月 厚労省労基局より第2種無災害記録証 受領
- ◇2019年12月 東芝Grとして国連の「生物多様性アクション大賞 2019」に入賞
- ◇2021年 4月 IATF16949:2016認証 取得
- ◇2021年12月 (東芝)より「第17回社会貢献賞」を受賞
- ◇2024年 3月 新出荷センター 竣工
- ◇2025年 2月 「ひめじ創生 SDGsアワード」を受賞

姫路東芝電子部品株式会社 環境方針

－理念－

姫路東芝電子部品株式会社は、東芝グループの経営理念である「人と、地球の、明日のために。」に基づき、脱炭素社会、循環型社会、自然共生社会を目指した環境経営により、持続可能な社会の実現に貢献し、新しい未来を始動させます。

－方針－

環境への取組みを企業経営の最重要課題の一つと位置づけおり、瀬戸内海に隣接する自然環境の中で、全ての事業プロセスにおいて、ライフサイクルの視点に立って経営と環境を調和した企業活動を実践し、社会課題の解決に貢献する取組みを行います。

1. 倫理観と継続性

- 1) 法令、当組織が同意した業界などの指針および自主基準など、当組織の環境側面に適用可能な法的及びその他の要求事項を遵守します。
- 2) 環境活動レベル及び環境パフォーマンスの向上を図るため、監査の実施や活動のレビューにより環境マネジメントシステムの継続的な改善を行い、環境経営の効果的な運用を推進します。

2. 実行

全ての事業プロセスにおける環境側面について、生物多様性を含む環境への影響を評価し、気候変動並びに循環経済への対応、生態系への配慮などに関する環境目標を設定し、積極的な環境施策を展開するとともに、社会課題の解決に貢献する製品を創出・提供していきます。

- 1) 気候変動への対応のため、カーボンニュートラル実現に向けた取組みを行います。
- 2) 循環経済への対応のため、事業活動に伴い投入する資源の最小化と3Rを推進し、資源の有効活用の取組みを行います。
- 3) 生態系への配慮のため、水資源並びに生物多様性の保全の取組みを行います。
- 4) 環境に関する情報発信、地域・社会との相互理解への取組みを行うとともに、全従業員の環境意識向上への取組みを行います。

この環境方針は、社内外に開示するとともに、当社内で働く全ての人々に方針を周知し、方針に沿った企業活動を推進します。

2024年6月14日

姫路東芝電子部品株式会社

環境保全責任者 岸岡 治

<ISO14001登録証>

ISO14001定期審査

当社は、1998年9月に環境国際規格であるISO14001環境マネジメントシステムの認証を取得し、2008年度より東芝デバイス&ストレージ株式会社グループに統合化され、認証機関による定期審査を受査しています。2025年度は、6月に更新審査を受け、認証を更新しました。



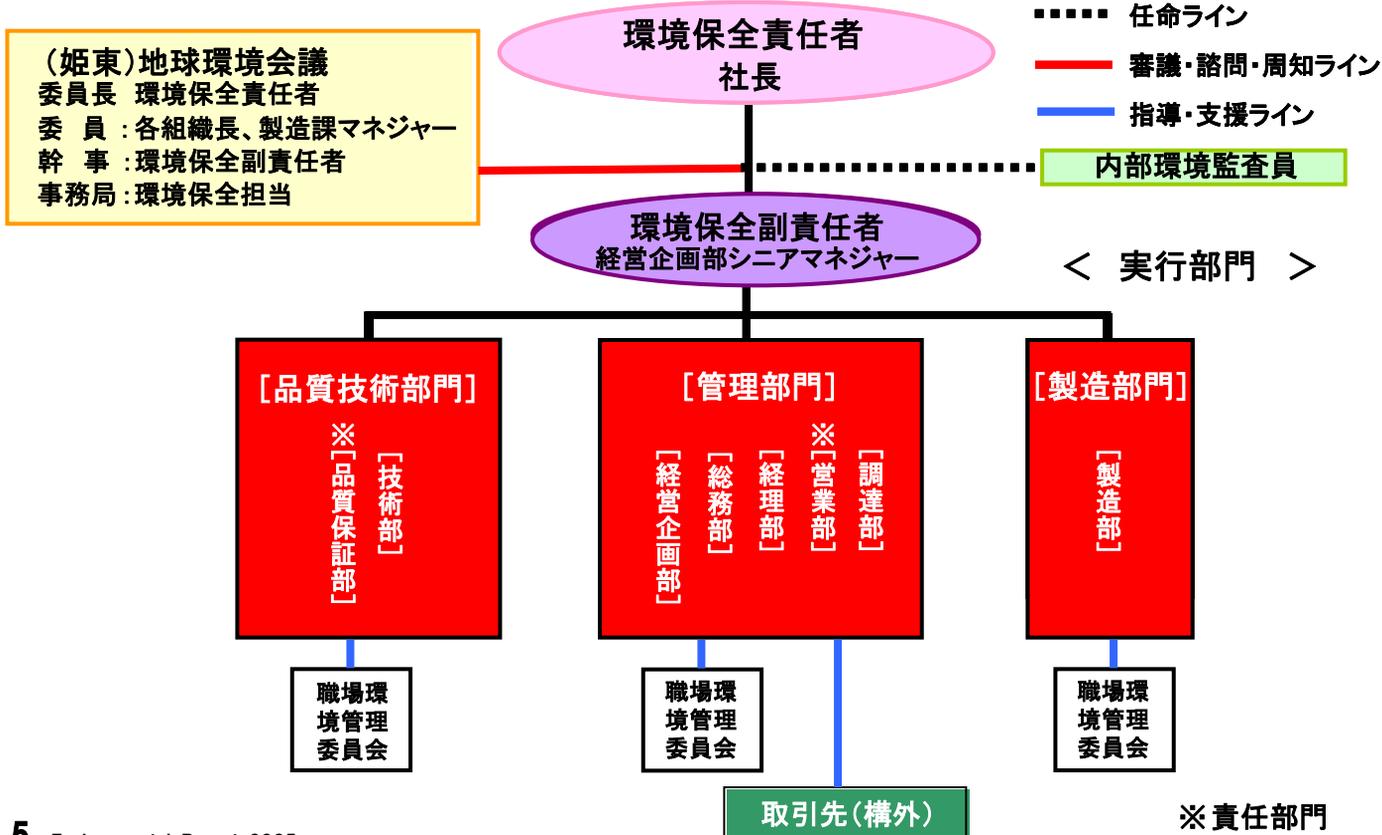
東芝総合環境監査

当社は、東芝グループの一員として東芝総合環境監査基準に基づき、定期的に社内監査を受査しています。監査内容は、環境経営と現場管理の実態、順法状況を中心に監査されます。



環境管理体制

当社は、東芝グループの一員として環境活動の継続的改善を実行するための推進体制を確立し、維持しています。



環境目的・目標

当社は、ISO14001に基づき、環境目的・目標及び環境実施計画を策定し、推進しています。
 また、2024年度環境目標は、全ての項目で目標を達成しました。
 ※環境目的は、3年間の中期計画、環境目標は、当年度の計画です。

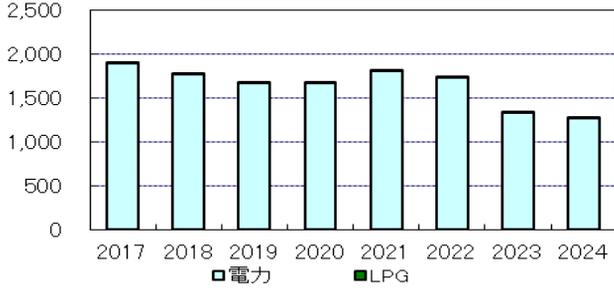
環境目的	環境目標	2024年度		結果
		目標	実績	
1. 地球温暖化防止の推進				
・省エネルギーの推進によるCO2排出量原単位の削減	・施策実施によるCO2排出量原単位 目標値の達成	・59.97t-CO2/ 労働生産性 以下	・57.78t-CO2/ 労働生産性	達成
2. 資源の有効利用推進				
・廃棄物総排出量の削減	・施策実施による廃棄物総排出量 目標値の達成	・1,527 t/年 以下	・1,224.331 t/年	達成
3. 社会貢献活動及び環境コミュニケーションの推進				
・地域社会との協調	・行政主催行事への積極的参加 ：「まちかど100mクリーンアクション」 (主催:姫路市)に参加	・計画に基づき 実施	・参加済み	達成
	・主要取引先(株)但陽精工様に現地指導		・実施済み	達成
	・環境学習の実施 ：「エコパークあぼし」施設見学		・実施済み	達成
	・瀬戸内海の環境美化活動 ：新舞子海岸の清掃		・実施済み	達成
	・環境報告書の定期発行 ：環境報告書2024作成・発行		・発行済み	達成
・生物多様性への取組み	・県準絶滅危惧種の保存・栽培 ：県花「野路菊」植栽 ・市蝶「ジャコウアゲハ」の呼び込み ：蝶が食する「ウマノスズクサ」植栽 ・東芝Gr生物多様性活動 情報共有 ：近隣 東芝Gr4社の意見交換会 に参加		・実施済み	達成
4. 環境意識の向上				
・社内環境教育 ・啓発施策 ・推進月間行事	・統合化環境教育受講率：100% ・各種推進月間行事の開催 6月：環境・10月：GE・2月：省エネ ・社長による安全・環境巡視	・計画に基づき 実施	・受講率：100% ・実施済み	達成

持続可能な社会のために

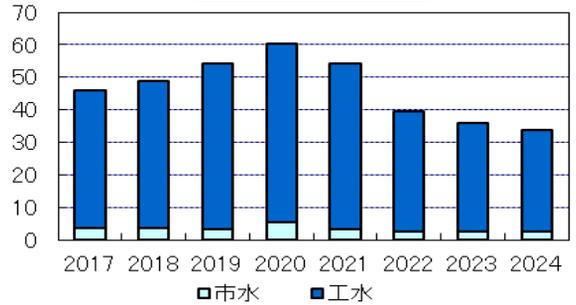
当社は、環境負荷の主なものに、エネルギー・水資源・化学物質の使用及びCO₂・廃棄物の排出があります。それらを数値として把握し、可能な限り環境負荷を低減するために改善活動を実施しています。

環境負荷実績

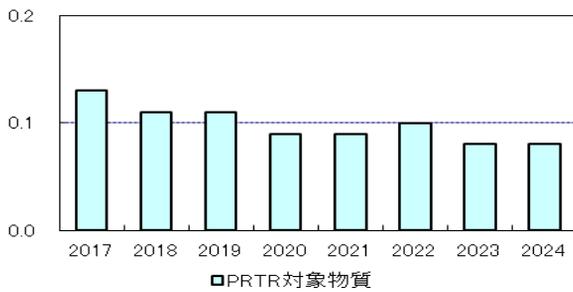
エネルギーの使用量(KL)



水の使用量(千m³)



化学物質取扱量の推移(t)



< INPUT >

姫路東芝電子部品(株)

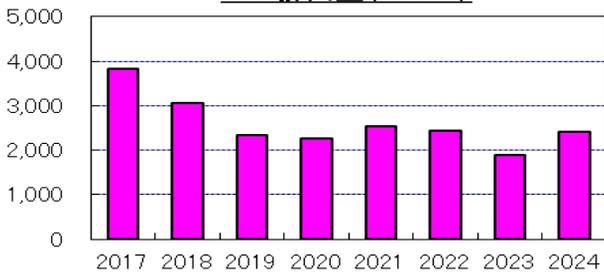
プレス製品・半導体用リードフレーム

精密金型・金型部品の製造

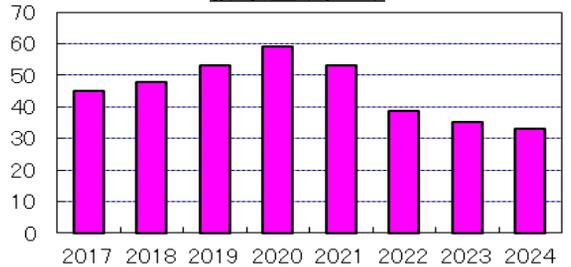


< OUTPUT >

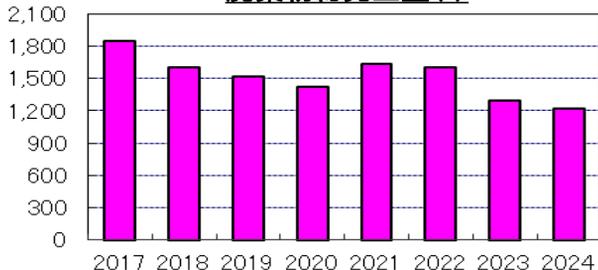
CO₂排出量(t-CO₂)



排水量(千m³)



廃棄物総発生量(t)



廃棄物最終処分量(Kg)と最終処分率(%)



環境法令の順守

●水質測定管理

当社は、法対象外ですが、生産系排水を「揖保川」へ放流しているため、水質汚濁防止法の法規制値よりも厳しい自主管理基準値を設定し、最終放流口（統合排水槽）で定期測定（1回/6ヵ月）を実施、全箇所・全項目で基準値内であることを確認しています。

<最終放流口（統合排水槽）>



<24年度水質測定結果>

測定場所	測定項目	法規制値	自主管理値	実測平均値	測定頻度
統合排水槽	PH	5.8～8.6	6.0～8.4	7.3	年2回
	COD (mg/l)	80以下	40以下	8.2	年2回
	BOD (mg/l)	80以下	40以下	7.8	年2回
	SS (mg/l)	70以下	35以下	1.2	年2回
	n-ヘキサン（鉱物油）(mg/l)	5以下	2.5以下	0.5	年2回
	ホウ素(mg/l)	10以下	5以下	0.06	年2回

測定場所	測定項目	法規制値	自主管理値	実測値	測定頻度
下水道No.1	PH	5.0～9.0	5.2～8.8	7.6	年1回
	BOD (mg/l)	600以下	300以下	110.0	年1回
	SS (mg/l)	600以下	300以下	200.0	年1回
	n-ヘキサン（鉱物油）(mg/l)	5以下	2.5以下	0.5	年1回
	n-ヘキサン（動植物油油）(mg/l)	30以下	27以下	1.4	年1回
	ホウ素(mg/l)	10以下	5以下	0.02	年1回

測定場所	測定項目	法規制値	自主管理値	実測値	測定頻度
下水道No.2	PH	5.0～9.0	5.2～8.8	8.5	年1回
	BOD (mg/l)	600以下	300以下	69.0	年1回
	SS (mg/l)	600以下	300以下	81.0	年1回
	n-ヘキサン（鉱物油）(mg/l)	5以下	2.5以下	0.5	年1回
	n-ヘキサン（動植物油油）(mg/l)	30以下	27以下	0.6	年1回
	ホウ素(mg/l)	10以下	5以下	0.02	年1回

●騒音測定管理

当社は、工業専用地域で、振動は法対象外ですが、騒音は敷地境界線北側が姫路市公害防止条例（告示72条）に該当するため、法規制値よりも厳しい自主管理基準値を設定し、定期測定（1回/年）を実施。北側境界3箇所・全時間帯で基準値内であることを確認済です。

<24年度騒音測定結果>

	測定場所・時間	規制値	自主管理値	実測平均値	測定頻度
騒音 (dB)	敷地境界：朝	60 (条例規制値)	59	47.7	年1回
	敷地境界：昼	65 (条例規制値)	64	46.0	年1回
	敷地境界：夕	60 (条例規制値)	59	46.1	年1回
	敷地境界：夜	50 (条例規制値)	49	46.2	年1回
振動 (dB)	敷地境界：昼	対象外	—	—	—
	敷地境界：夜	対象外	—	—	—

●順守評価の実施

当社は、環境法令等の規制事項及び当社が同意するその他の要求事項に関する順守状況を確認するために、チェックリストを用いて定期的（1回/年）に確認を実施しています。

事業活動での環境配慮

地球温暖化防止

当社は、エネルギー起源のCO2排出量を削減するために、省エネ委員会を発足し、ムダ排除と生産性向上などによるエネルギー効率UPでの省エネルギー対策を中心に取組んでいます。

●省エネTOP巡視



●その他の取組み

「クールビズの推進」「ウォームビズの推進」などの啓発活動も実施しています。



その他の環境活動

●異常想定訓練

計画的に異常想定訓練(2回/年)を実施しています。



●廃棄物処理委託先への現地視察

廃棄物処理委託先へ定期的(1回/年)に現地視察を実施しています。



<西播環境整備 株式会社 様>



<株式会社 新生興業 様>



<アマタサーキュラー 株式会社 様>

地域との共生のために

環境コミュニケーション

当社は、より良い地球環境の実現のために、環境コミュニケーションの充実に努めています。

● 生物多様性活動

生物多様性への取組みとして、野路菊及びウマノスズクサを植栽&栽培しています。



● 社会貢献活動

当社の従業員(家族含む)による新舞子海岸の清掃活動を実施(1回/年)しています。



姫路市主催の「まちかど100Mクリーンアクション」運動に参加し、当社周辺の道路清掃を実施(3回/年)しています。



● 啓発活動

各種月間行事では、入選標語の表彰式、環境関連施設への見学・学習を実施しています。



地域との共生のために

環境コミュニケーション

●表彰活動

姫路市SDGs宣言企業として申請・登録させて頂き、「ひめじ創生 SDGsアワード」エントリーシートに、当社の姫路市におけるSDGs推進内容を記載・応募し、選出され、発表させて頂いた。また、市長から発表内容について講評頂き、感謝状を贈呈された。



●事例発表

- ① 認定特定非営利活動法人コムサロン21
「誰もが輝く未来のために！～誰もが観光を楽しめて、誰もが働きやすいまちづくり～」
- ② 姫路市立安富中学校
「安富町花 あじさい復活プロジェクト」
- ③ 株式会社澤田洋行
「145年目のSDGs～アップサイクルグッズでこどもの少ない世界へ～」
- ④ 兵庫県立姫路西高等学校
「地域と共生する商業施設」
- ⑤ 株式会社ニッスイ 姫路総合工場
「姫路市の持続可能な未来への貢献
南ニッスイ姫路総合工場のSDGsへの取り組み」
- ⑥ 姫路市立立姫路高等学校
「高校生の地元への愛着と定住～高校生はどこにどのような愛着を持つのか～」
- ⑦ 117グループ(株式会社117)
「高橋祥景・介選で人をつなぐ」
- ⑧ 姫路女子学院中学校・高等学校
「それゆけ！SDGs Part2」
- ⑨ 有限会社播磨海洋牧場
「水産の6次産業化から独自産業化へ」
- ⑩ 賢明女子学院中学校・高等学校
「つながりから生まれる力」
- ⑪ 姫路東芝電子部品株式会社
「人と、地球の、明日のために。」
- ⑫ 東洋大学附属姫路中学校・高等学校
「地産資源を活用した持続可能な取り組み」
- ⑬ コーチャラン株式会社 デジタルサービス営業本部 兵庫支社
「SDGsと事業の両輪に導いたリコーチャランの取り組み
～製紙業・デジタル化に向けたお役立ち～」

6校(中・高校) + 7/570 団体



ひめじ創生 SDGs





姫路市蝶「ジャコウアゲハ」

姫路東芝電子部品株式会社

経営企画部 環境保全担当

〒671-1242 兵庫県姫路市網干区浜田1000番地

TEL. 079-274-3124 FAX. 079-274-1104

2025年6月発行